

船舶事故調査報告書

平成30年8月22日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 佐藤 雄二（部会長）

委員 田村 兼吉

委員 岡本 満喜子

事故種類	乗組員行方不明																												
発生日時	不明（平成29年3月15日 17時30分ごろ～16日 04時00分ごろの間）																												
発生場所	不明（鹿児島県徳之島町 ^{とくのしま} 徳新港～沖縄県沖縄島北東方沖の間）																												
事故の概要	漁船 ^{みつき} 美月丸は、漁場に向けて航行中、行方不明になった。 船長は、行方不明になった。																												
事故調査の経過	平成29年4月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者からの意見聴取は、本人が本事故で行方不明になったため、行わなかった。																												
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 美月丸、5.6トン KG2-1825（漁船登録番号）、個人所有 12.01m (Lr) × 2.97m × 0.86m、FRP ディーゼル機関、257.4kW、不詳 第296-16227号（船舶検査済票の番号）																												
乗組員等に関する情報	船長 男性 61歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成10年8月11日 免許証交付日 平成25年5月15日 (平成30年8月10日まで有効)																												
死傷者等	行方不明 1人（船長）																												
損傷	不明																												
気象・海象	(1) 気象 本船が向かった漁場付近の南東方約85海里（M）に位置する南大東島地方気象台における3月15日、16日の観測値は、次のとおりであった。 <table border="1" data-bbox="545 1794 1401 2038"> <thead> <tr> <th rowspan="2">時刻 (時：分)</th> <th colspan="4">風向・風速 (m/s)</th> <th rowspan="2">視程 (km)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">平均</th> <th colspan="2">最大瞬間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18：00</td> <td>北</td> <td>5.3</td> <td>北</td> <td>8.8</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>20：00</td> <td>北北東</td> <td>5.2</td> <td>北北東</td> <td>9.2</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>22：00</td> <td>北</td> <td>4.8</td> <td>北</td> <td>7.9</td> <td>20.0</td> </tr> </tbody> </table>	時刻 (時：分)	風向・風速 (m/s)				視程 (km)	平均		最大瞬間		18：00	北	5.3	北	8.8	20.0	20：00	北北東	5.2	北北東	9.2	20.0	22：00	北	4.8	北	7.9	20.0
時刻 (時：分)	風向・風速 (m/s)				視程 (km)																								
	平均		最大瞬間																										
18：00	北	5.3	北	8.8	20.0																								
20：00	北北東	5.2	北北東	9.2	20.0																								
22：00	北	4.8	北	7.9	20.0																								

24:00	北	3.4	北	6.6	20.0
02:00	北北東	2.8	北北東	4.2	20.0
04:00	北	1.9	北	2.7	20.0

(2) 海象

- ① 気象庁沿岸波浪図による波浪観測値 沖縄島沖（太平洋側）
 3月15日21時 波向 北西、波高 1.2m、周期 7秒
 3月16日09時 波向 西北西、波高 1.4m、周期 8秒
- ② 気象庁日別海面水温による本船が向かった漁場付近の観測値
 3月15日11時00分発表 約22℃
 3月16日11時00分発表 約22℃

(3) 海上気象

気象庁沖縄東方海上における地方海上警報および地方海上警報予報

3月15日 19時00分発表 海上警報なし、15日から16日にかけての予想、風 北13 (m/s) 後 北東 8 (m/s)、
 天気 曇り、視程 5km、波 3m 後 2.5m

3月16日 07時00分発表 海上警報なし、16日の予想、
 風 北東 10 (m/s) 後 南西10 (m/s)、天気 曇り、視程
 10km、波 3m 後 2.5m

(付図1 天気図 参照)

事故の経過

本船は、船長が1人で乗り組み、そでいか漁の目的で平成29年3月15日17時00分ごろ亀徳新港を出港した。

僚船船長は、徳之島町から17時30分ごろ携帯電話で船長と通話して沖縄島北東方沖の漁場に16日早朝に到着する予定であることを聞いた。

‘本船の所属の漁業協同組合’（以下「本件組合」という。）は、船長の家族から本船が帰港予定日の21日を4日経過したが、帰港していないとの連絡を受け、25日13時00分ごろ海上保安庁に通報した。

本船及び船長は、海上保安庁の巡視船及び航空機が捜索を行って28日19時25分ごろ専従捜索を終了し、本件組合が漁船で4月5日まで専従捜索を行ったが発見されずに行方不明となった。

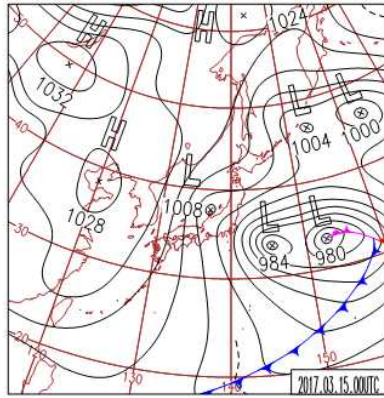
その他の事項

本船は、27MHzの無線機を2台備えていたが、船舶電話は無かった。

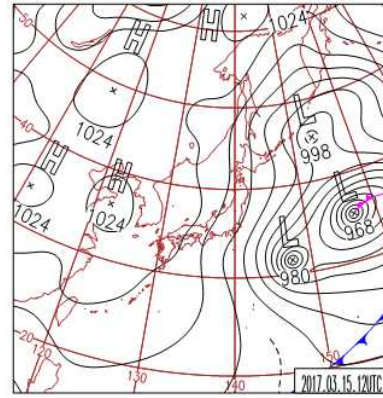
本件組合によれば、沖縄島北東方沖の漁場でそでいか漁を行う場合、漁船は04時00分ごろから無線機で自船の緯度、経度、進行方向及び進行距離を他の漁船に連絡した後に操業を開始し、縄が絡むことがないように投縄を行っていた。

	<p>本件組合によれば、16日04時00分ごろ沖縄島北東方沖の漁場で操業していた約5隻の漁船及び別の漁業協同組合は、無線機で本船と交信することなく、目撃情報を得ていなかった。</p> <p>海上保安庁によれば、本事故後、海上自衛隊及び全国の漁業無線局などに本船の情報提供を依頼したが関連情報は得られなかった。</p> <p>船長は、約10年の漁業経験があり、乗船中、ふだんから救命胴衣を着用し、上下の作業服を着て長靴を履いていた。</p> <p>船長は、泳ぐことができた。</p> <p>船長の家族によれば、船長は持病もなく、出港時の健康状態は良好であると感じた。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長は、行方不明になった。</p> <p>本船は、沖縄島北東方沖の漁場に向けて航行中、船長が、3月15日17時30分ごろ僚船船長と携帯電話で通話した後、16日04時00分ごろ沖縄島北東方沖の漁場で操業を開始する他の漁船と無線機による交信が確認されなかったことから、この間において行方不明になった可能性があると考えられる。</p> <p>船長は、出港後、無線機で他の漁船等と交信して操業を行った形跡がなかったこと、及び本船が発見されなかったことから、行方不明になった状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、沖縄島北東方沖の漁場に向けて航行していたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>再発防止策</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1人乗りの漁船では、船舶電話等、非常時の連絡手段を確保しておくことが望ましい。 ・ 定期的に僚船や家族と連絡をとることが望ましい。 ・ 予定日を過ぎても帰港しないことを認めた陸上の者は、可能な限り早期に海上保安庁に連絡することが望ましい。

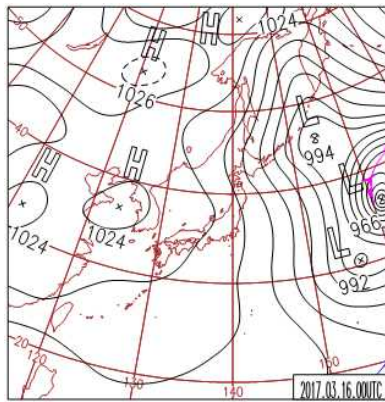
付図1 天気図



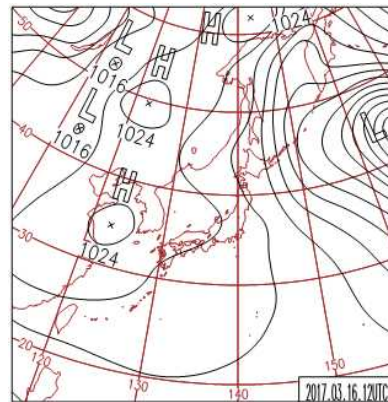
(平成29年3月15日09時)



(平成29年3月15日21時)



(平成29年3月16日09時)



(平成29年3月16日21時)